

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第3号（ウンカ類・コブノメイガ）を發表します。

病害虫発生予察 注意報第3号

- 1 農作物名 普通期水稻
- 2 病害虫名 セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ
- 3 飛来地域 県内全域

4 飛来日と飛来量

主な飛来日	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ
6月28日	少	少	—
7月2日	並	少	—
7月5日	多	多	少
7月7～8日	少	少	多

5 注意報発令の根拠

(1) ほ場におけるウンカ類成虫の生息密度（普通期水稻，7月5～10日調査）

地 域	調査日	セジロウンカ	トビイロウンカ
南 薩	7月6～7日	27～36頭/株	1.0～1.8頭/株
	7月8～10日	3.2～16.3頭	0.1～0.2頭
北薩平坦	7月7日	40～50頭	—
	7月10日	0～6.4 (2.4) 頭	0～0.4 (0.16) 頭
北薩山間	7月10日	0～10.4 (2.4) 頭	認めず
曾於肝属	7月5～7日	3～5 (4.0) 頭	認めず

注) () 内は平均虫数

(2) 誘殺状況等（農業開発総合センター）

種類	調査方法	6月28日	7月2日	7月5日	7月7日	7月8日
セジロウンカ	予察灯 (60W)	125	437	9,720	—	—
	ジョンソントラップ	2	231	1,064	41	21
トビイロウンカ	予察灯 (60W)	4	9	329	—	—
	ジョンソントラップ	1	5	99	0	0
コブノメイガ	ブルーライト吸引トラップ	5	0	2	10	213
	ほ場追い出し	—	—	6	156	36

注) コブノメイガのほ場追い出し調査は100㎡当たり虫数

- (3) セジロウンカ、トビイロウンカの飛来量は平成6年以降で最も多く、コブノメイガは平成12年以降で最も多かった。また、今回の飛来波では、セジロウンカに対するトビイロウンカの比率が3～10%と高かった。
- (4) 飛来直後における普通期水稻での株当たり密度は、セジロウンカは30～50頭、トビイロウンカは1.0～1.8頭と高かった。

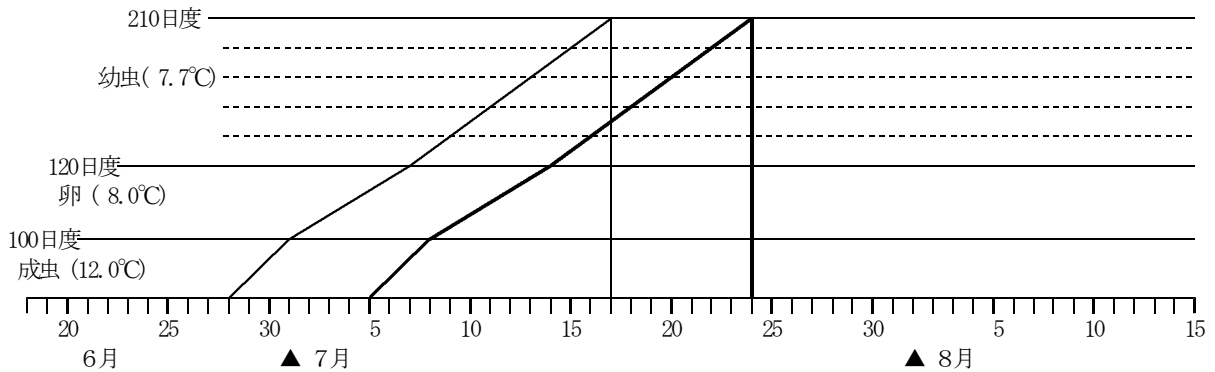
6 防除の考え方

- (1) 7月5日に飛来したセジロウンカ、トビイロウンカの防除適期は7月18～23日頃となるので、発生状況を確認して防除を行う。
- (2) コブノメイガの防除適期は7月14～20日頃となるので、ウンカ類との同時防除を行う。なお、粒剤による防除は防除適期を過ぎているので行わない。
- (3) 飛来量が多いので、箱施薬剤を使用しているほ場でも発生に十分注意する。
- (4) 今後、ウンカ類の飛来があった場合はほ場を見回り、成虫が株当たり10～15頭以上認められた場合は、被害防止のためできるだけ早く防除を行う。

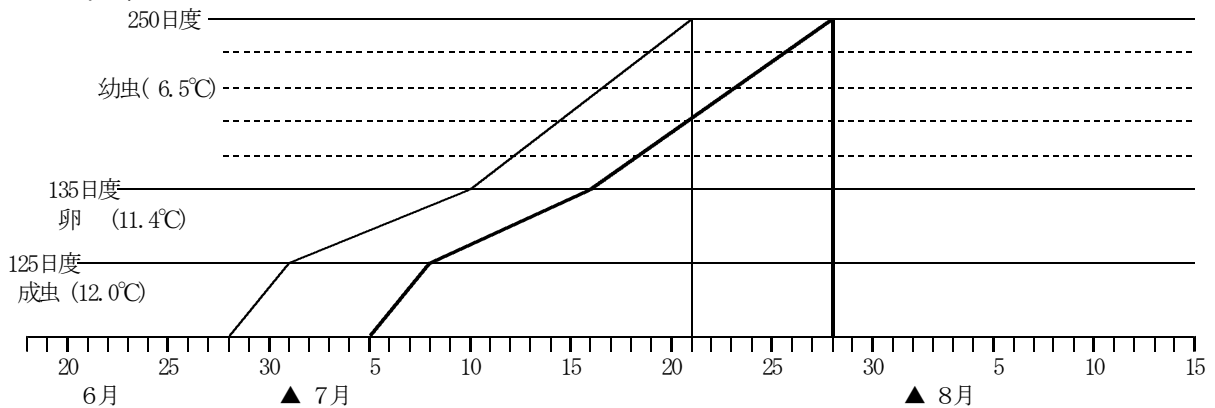
海外飛来性害虫の有効積算温度による発生経過予測 (鹿児島地方気象台：鹿児島郡のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所 2006年7月10日 作成

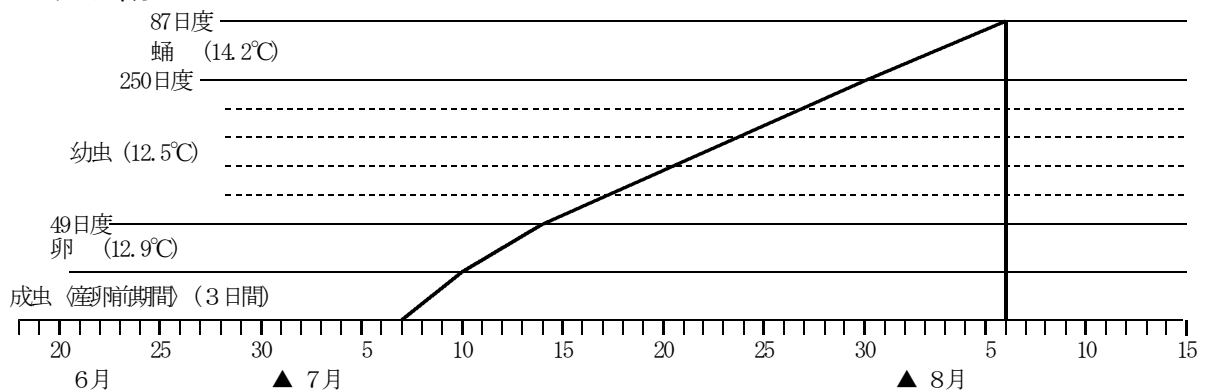
1. セジロウンカ



2. トビイロウンカ



3. コブノメイガ



(注) 気温の低い地域では予測より2～4日程度遅くなる。